



福寿草 庄原市東城町

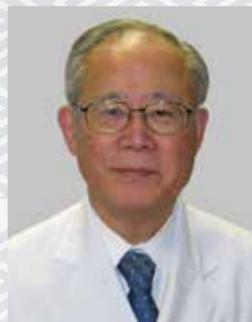
### 特集

## 新年のご挨拶

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。本年も寺岡記念病院は、個人のニーズに合わせた個別化医療、ケアに取り組み、更に共生社会を目指したまちづくりに取り組んで参ります。

- 理事長挨拶 ..... P2
- 病院長挨拶 ..... P3
- 事業本部長挨拶 ..... P4
- 地域医療連携室長挨拶 ..... P5
- 看護部長挨拶 ..... P6
- 事務局長挨拶 ..... P6
- 在宅支援外来について ..... P7・P8
- 地域医療講演会のご案内 ..... P8
- 老化を知ろう ..... P9・P10
- 理念・病院カレンダー ..... P11
- 外来診療表 ..... P12

## 高齢社会における 人生のとらえ方と医療



理事長  
寺岡 暉

平成30年1月17日の産経新聞朝刊は、政府がまとめた中長期的な高齢者施策の指針となる「高齢社会対策大綱案」の全容(5年ごとに改定される)を一面トップで報じており、この大綱案によれば、年金の受給開始年齢について70歳以降を選択可能としています。これは高齢者の就業促進と年金の給付改善が狙いであり、数値目標として、平成28年時点で63.6%だった60~64歳の就業率を32年に67%まで引き上げる目標を掲げています。基本的考え方として、「65歳以上を一律に『高齢者』と見る一般的な傾向は、現状に照らせばもはや、現実的なものではなくなりつつある」と指摘しています。その上で「年齢による画一化を見直し、全ての年代の人々が希望に応じて意欲、能力を生かして活躍できるエイジレス社会を目指す」としています。この考え方は、昨年1月日本老年医学会が日本人の健康寿命が延伸しているというデータに基づいて、75歳以上を高齢者とする高齢期の新区分を提案したことと呼応するものです。しかし、私はこの「エイジレス: ageless」(=年のない、不老の)という言葉が安易に使っているのには感心しません。Agelessは現実を無視した考え方で、むしろ「年齢を考慮した」、「年齢を生かした」生き方を強調すべきでしょう。

高齢者の年齢区部については、イギリスの歴史学者ピーター・ラスレットは人生を4期(ファースト・エイジ=教育を受け社会化される時期、セカ

ンド・エイジ=家庭や社会において責任を担う時期、サード・エイジ=自己達成と充実の時期、フォース・エイジ=依存と老衰の時期)に分け、自己実現と社会貢献の「サード・エイジ」を「人生の全盛期」と強調する考え方を“A Fresh Map of Life”に書いています。また、古代インドのマヌ法典に書かれている「四住期」(しじゅうき)では「暦年齢」の高齢期は「林住期」と「遊行期」となっており、ラスレットの考え方と通じています。

一方、高齢になれば筋力や反射速度が遅くなり、視力・聴力が低下し、バランス(平衡機能)も悪くなって自立度が低下することも事実です。高齢社会においては、このように自立度低下を来し、しかも個人差の大きい高齢者を対象として、一方においては健康寿命を延伸し、他方においては個人個人の状態に応じて治療・ケアするということを明確に意識する必要があります。日本の社会は「高齢社会」を乗り越えて「超高齢社会」と呼ばれる時代になりました。超高齢社会においては、老年医療として一まとめに捉えるのではなく、個人差に注目した精密な医療が求められます。

社会医療法人陽正会は寺岡記念病院、老健みのり・北川クリニック、神石高原町立病院、多世代交流施設ローカルコモンズしんいち、そして連携施設新市福祉会ジョイトピアおおさ・ジョイトピアしんいちと共に個人のニーズに合わせた個別化医療・ケアに取り組み、さらに共生社会を目指したまちづくりに取り組んで参ります。

## 世界の情勢と 地域医療と



病院長  
武田 昌

去年は、11月から早くも「冬将軍」の到来があり、この地区ではインフルエンザが急速に流行してきています。また、それ以外の風邪や急性胃腸炎症状を伴うウイルス疾患も多発してきており、しっかり睡眠と栄養をとり、免疫力を高めて健康な日々を過ごしたいものです。

世界に目を向けると、去年は某大国の新大統領の「リーダーシップ」により、世界の情勢が急速にきな臭くなってしまいました。また、これに呼応するように、日本の近隣の某国のリーダーがすぐにロケット遊びを始める有様で、世界の安全というものについては、やはり「国連」の強力なリードのもと、世界中の国々がおのおののしっかりとした対策を打ち出す必要があるでしょう。唯一の被爆

国である日本も、政治ごっこばかりにうつつを抜かす事をやめて、平和維持のための最大限の努力をして欲しいものです。

昨年、「高齢者医療」と「若年者医療」について書きましたが、日本の状況はますます高齢化が進み、医療・介護・福祉の一体化した対策が求められています。寺岡記念病院の理念である「トータル アンド シームレスケア」という言葉の重みは年々増しており、私たち病院職員が、地域の基幹病院としての役割の重要性を益々自覚して、充実した一年としたいと思います。

# 地域共生社会を構築する事は、 地域包括ケア推進の重要な 要素であります

事業本部長  
寺岡 謙



2018年になり、既に1ヶ月が過ぎようとしています。今年十干でいえば「戌(つちのえ)」、十二支でいえば「戌(いぬ)」ですので、今年の干支は「戌戌(つちのえ・いぬ)」という方が正確との事です。この年の特徴は、「良い事と悪い事がはっきり分かれる」という事で、取捨選択するものを明確に定める事が大事だとされています。社会医療法人社団陽正会が運営する寺岡記念病院、北川クリニック、老健みのり、ローカルコモンズ・ウィル、指定管理を行う神石高原町立病院、そして関連法人である社会福祉法人新市福祉会が運営する特養おおさ、老健しんいち、ガーデンテラスは、それぞれの特徴を最大限に発揮するために、日々、各々の施設で努力を重ねています。しかし、時代は人口減少の時代です。また、東京と地方の格差、そして地方の中でも都市部とその周辺地域との格差は開くばかりです。また、AIやロボットといった先端技術が、今後は私たちの生活の中に急速に入り込んで来ます。おそらく、医療と介護の技術も、急速に変化していくかもしれません。

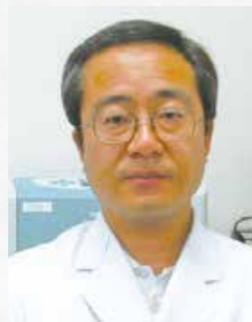
このような時代にあって、各施設が取り組むべき事は数多くあり、従来の医療・介護提供という枠に囚われているだけでは、未来への展望が開けない場合もあります。中でも大事な事は、地域社会・住民の方々と積極的に交流し、医療・介護・福祉の面から地域住民の生活を支援する事にあります。

地縁・血縁が薄れていく地域社会の中で、高齢者から子ども、そして障がい者を含む全世代の人々が、様々な関心や生きがいによるつながりを持って、地域共生社会を構築する事は、地域包括ケア推進の重要な要素であり、今後の医療機関と介護保険施設の大きな役割となると考えております。

地域の方々や様々な団体と協力しながら、医療機関・介護保険施設がそれぞれの特徴を活かし、そして、出来る事を選択し地域に貢献する。我々は、この事を最大の目標にして、今年も努力してまいります。

# 今後もしっかり連携をとり、 地域に貢献してまいります

副院長  
腎センター長  
地域医療連携室長  
熊谷 功



我が寺岡記念病院は、福山市北部・府中市・神石高原町を中心とした地域において、シームレスケアを理念として、ケアミックス型の形態を維持しながら、71年目を迎えることになりました。地域の救急の受け皿としてなくてはならない急性期病棟、急性期以後の早期から積極的なリハビリを行う回復期リハビリテーション病棟、在宅・施設での病状悪化から治療・リハビリテーションにより比較的早期に生活の場に戻っていただくための地域包括ケア病棟、継続的・反復的・緩和的な治療が余儀なくされる方のための慢性期病棟、治療よりも介護療養に重点が置かれる療養病棟。必要に応じて病棟移動をお願いすることにはなりますが、患者さんの病状・病期にあわせた診療を提供させていただくことができます。特に最近、行政から「地域包括ケア」を推進する声がよくあがっており、急性期専門病院・当院のような地域の病院・診療所・施設・自宅まで広範に含んだ連携体制とともに、病院内では地域包括ケア病棟の役割が重要になっています。

隣接する多世代交流施設ローカルコモンズしんいち、多世代・多機能・多職種の施設として、福祉介護の地域拠点としてその役割を果たしつつあります。特に訪問診療・看護・リハビリテーションにおいて、その活動をより活発に行うよう

になっており、今後地域医療連携室としては地域包括支援センターとの間でしっかりと連携をとりながら、地域に貢献していきたいと考えております。

府中市民病院と当院の連携による「コンソーシアム府中」の活動を一層進めていき、医療提供体制の強化をめざし、地域の方々の健康を支えることに努めて参ります。

例年と同様に紹介受診予約、検査依頼予約、入院転院の予約・手続き、退院に向けての相談、退院後の介護施設利用・入所の手続き・予約、その他様々なご相談をお受けいたしております。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 看護部長 新年ご挨拶

日本列島、大寒波の年明けとなりました。当院は年末からインフルエンザ対策に追われました。

病院での感染の拡大は収束に向かってるように感じられますが、まだ地域でのインフルエンザは猛威を振っているようです。皆様、手洗い・うがい・水分補給などこまめに行い、しっかり睡眠・食事を摂って感染予防に努めましょう。

さて、当院は昨年11月に寺岡記念病院開設71周年を迎えました。救急対応を中心に地域の基幹病院として位置づけられてきました。今後は2025年問題が示すように団塊の世代すべてが75歳以上の高齢者になり、高齢者人口が増えてきます。若年者が減少し、一人暮らし高齢者の増加や、要介護者の増加、認知症患者の増加などの大きな問題が想定されます。病院完結型の医療から地域全体で治し支える地域完結型の医療に変わってきます。

## 事務局長 新年ご挨拶

昨今日本においても、自然災害が頻発、お亡くなりになられる方が増えております。2014年8月に発生した広島市土砂災害において亡くなられた方は77名となり、土砂災害による人的被害としては、過去30年間の最多に及びました。また、2016年4月に発生した熊本地震、2017年7月に発生した九州北部豪雨においても多くの方が尊い命を失うこととなりました。こうした災害を心に刻みながらも前を向いて頑張らなくてはと、思いを新たにしております。

さて、わが国の高齢者人口が益々増加する中、高齢者の方々そして子どもたちとの交流も非常に大切であると実感しています。

平成29年10月より新市町新市の多世代交流施設ローカルコモンズしんいちのガーデンテラスにおいて、子どもたちが気軽に立ち寄れる地域の居場所を提供する目的でコミュニティレストラン「みんなおいで家」がオープンしました。<月1回第3土曜日16:30~19:30>

第1回目メニューは「おいで家」特製ビーフカレー・サラダ・ヨーグルト(参加者86名)

第2回目メニューは鶏のからあげ・サラダ・お味噌汁・リンゴゼリー(参加者97名)

第3回目メニューはオムライス・サラダ・シチュー・ケーキ(飾りつけ)(参加者80名)

在宅に  
目を向ける事が  
必要です。

看護部長  
黒田 悦子



看護師も病院の中だけではなく生活の場である在宅に目を向ける事が必要です。その人がその人らしく最期まで過ごせる地域づくり、生活の質を考えた暮らしができるように地域包括ケアの取り組みが始まりました。入院した時から退院を見据えた援助ができるように各病棟には社会福祉士を配置し、それぞれ専門職が連携して関わります。地域で計画されている研修会や予防教室などへ講師を派遣したりもしています。医療・福祉・介護の一体的な取り組みで切れ目のない医療提供の推進をスローガンに、より一層励んでいきますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

大人も子どもたちも  
「みんなおいで家」

事務局長  
西嶋 朝枝



ボランティアの皆様は25名(高校生8名、地域の皆様及び職員の皆様)、子どもたちのお遊び・学習担当、各調理の担当等を決め、また高校生のパワーも大いにかりて賑やかに楽しく進めております。

「みんな一緒に遊ぼうや、話そうや!」  
大人も子どもたちも「みんなおいで家」、おいしいメニューも色々と考えていますよ!皆様のご参加をお待ちしております。

こうした地域の皆様、子どもたちとの触れ合いにより、共に助け合い、わかち合える場として地域の輪を一層広げて参りたいと考えておりますので、引き続き地域の皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、地域の皆様そして、職員皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 在宅支援 外来について



地域医療科 部長  
総合診療科 医長  
藤原 恵(内科)

## はじめに

2017年10月より、社会医療法人社団陽正会・寺岡記念病院では、「在宅支援外来」を開設しています。

「病状が不安定で、介護サービスが調整しにくい」「自宅での生活に不安があるが、どの科を受診すればいいのか分からない」「自宅や地域でできるだけ最期まで過ごしたい」というような困りごとで悩んでいる方がいらっしゃれば、お気軽にご相談ください。



## 地域包括ケアシステムと在宅支援外来

地域包括ケアシステムづくりとは、誰もが、自分の住み慣れた地域で、最期まで、その人らしく暮らせるように、皆が知恵を出し合って、医療、介護、福祉の社会的資源を活用し、より良い「繋がり」・「連携」・「協働」の仕組みを創っていく取り組みです。超高齢化社会が到来する中で、福山市、府中市では、福山市医師会、府中地区医師会が、行政機関等と協力して進めています。

従来の「垣根」や「区分」を超えて、「わが事、まる事、みな事」の問題として捉え、すぐに対応していく取り組みの一つとして、寺岡記念病院では、昨年10月から「在宅支援外来」を開設しました。患者さん、ご家族の方からだけではなく、地域のケアマネージャー、ソーシャルワーカー、在宅医療診療所等からのご相談もいただき、対応しています。

## 在宅支援室活動の一環としての在宅支援外来

在宅支援室は、2014年に、陽正会の独自事業として、新設されました。スタッフは、医師・看護師・社会福祉士で、「制度の狭間」的、複合的課題を抱えた患者への支援を目的に活動をしてきました。活動内容としては、

1) (気になる) 外来患者宅への自宅訪問(例えば、救急搬送され、外来で治療され、帰宅された

が、自宅での生活が気にかかる方など)や訪問診療

2) 多機関・多職種による支援困難ケースの検討会の主催(地域包括ケアしんいち調整チームの毎週1回の定例会議を中心とした活動)

3) 医療機関としての『地域づくり・貢献』に関する事務局機能・実働、を行ってきました。

この3年間の活動の蓄積の上に立って、より能動的に、行動的に、活動を充実させていくものとして、2017年10月から「在宅支援外来」を開設することにしました。

活動目的として、

**1) 「制度の狭間」的、複合的課題を抱えた患者・家族を支援することです。**

具体的には、関係するケアマネ、ソーシャルワーカー、行政と連携し、問題点を整理し、医療・福祉・介護サービスとつなげていくことです。高齢者(要支援・要介護)、障がい者、がん患者、難病患者、退院困難な入院患者等が主な対象となります。在宅支援外来の活動をきっかけに、関係する多職種・多機関の活動を通じて、地域包括ケアシステムを担う人材づくりの輪が広がっていくことを期待しています。また、こうした協働

活動を推進するツールとして、「高齢者総合評価」を活用していきたいと思っています。

在宅支援外来の受診対象者は、寺岡記念病院に通院されている方に限りません。この地域にお住まいの方であれば、誰でもご連絡ください。

**2) 外来時間は、月曜日(14:30~16:00)・金曜日(13:30~15:00)です。**担当医師は、地域医療科・総合診療科の藤原です。

**3) 事前に、関連する多機関・多職種からの情報収集・共有と、課題整理が必要です。前もって、在宅支援室にご相談ください。**

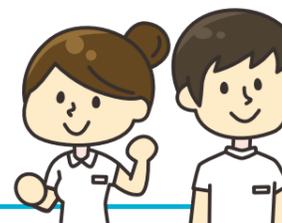


# 老化も知ろう

味覚の変化と生活習慣病の関係

看護師

田邊 直人



例年にもれず今年も全国でインフルエンザが猛威を振るっておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか?今回は前回に続き“老化”をテーマに生活における注意点や工夫について考えてみましょう。日本は世界的な長寿国であり、2016年の厚生労働省の調べでは香港に続き世界で2番目に平均寿命が長い国となっています。ここで、おさらいです!「平均寿命」、よく聞くこの言葉ですが、実は間違えて理解している人が多いのです!例えば2017年の日本人男性の平均寿命は80.75歳ですが、今日50歳の男性が“あと約30.75年生きることが出来る”という意味ではありません。平均寿命とは“生まれたばかりの0歳児があと、何年生きることが出来るか?”を表す数字です。

すなわち2017年生まれの男の子は平均すると“80.75歳生きるであろう”ということなのです。ちなみに厚生労働省による簡易生命表によると2017年に50歳男性の平均的な“余命”は約32年です。長生きすることが出来る時代になった事は間違い無いと言えますが、大切なことは“健康でありながら長生きすること”ではないでしょうか?健康の定義はとて複雑で、「心」と「身体」、「社会」や「環境」など人それぞれと言えます。ここでは「身体」の健康と「長生き(老化)」について考えてみましょう。今回は「老化による味覚の変化について」です。

お問い合わせ先: **0847-52-3140** 〈寺岡記念病院 在宅支援室〉

## コンソーシアム府中 地域医療講演会

講演:

# 『医療の将来を考える』

講師: **谷本 光音先生**

独立行政法人国立病院機構  
岩国医療センター 院長  
岡山大学病院  
血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科 前教授



参加  
無料

日時: 平成30年**2月24日(土)**

午後2時~(開場 午後1時30分)

場所: 府中市保健福祉総合センター リ・フレ 3階パレオホール

対象: 医師、看護師、コメディカルスタッフ、介護・福祉スタッフ等

主催: コンソーシアム府中(寺岡記念病院・府中市民病院) お問い合わせ先: 寺岡記念病院 TEL: 0847-52-3140  
府中市民病院 TEL: 0847-45-3300

## 老化による“味覚”の衰えについて

### 1. 味の感度の低下

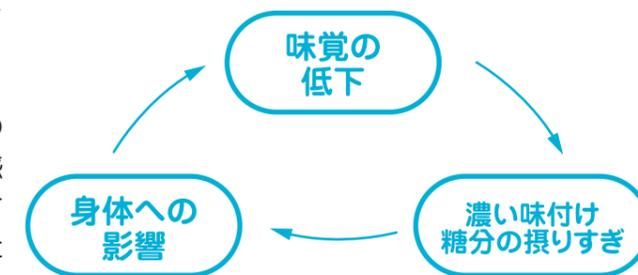
味覚とはご存知の通り、“味”を感じる感覚です。“味”は大きく分けると「甘い」「塩辛い」「酸っぱい」「苦い」という4つに分類されます。それらを舌のセンサー【味蕾(みらい)】で感じ取ることで“味”を感じています。ところが老化により、これらのセンサーの感度が低下してしまうのです。特に加齢により低下すると言われているのが「塩辛さ」です。

### 2. 唾液が出にくくなる

唾液の分泌量も加齢により減少します。唾液は口の中で食べ物を柔らかくして噛むことで味や食感を感じやすくします。さらに唾液には炭水化物を分解するアミラーゼという酵素を含んでいて味を感じるために大切な働きがあります。“ご飯をずっと噛み続けていると甘く感じる”っていうあれです。

### 3. 栄養不足による味覚障害

偏った食事やダイエットなどにより栄養のバランスが悪いと、“亜鉛”という栄養素が不足してしまいます。この亜鉛は先に述べた味のセンサー“味蕾”を作る素になるのです。それが原因で味を感じにくくなることあるのです。



▲こんな悪循環になってしまいます!

## 生活にどんな影響があるの?

では、味覚が低下してくると食事はどんな風に変化していくのでしょうか?

### 1. 塩辛くなる

醤油や味噌など日常的に多く使うようになります。それにより塩分の摂りすぎが起こります。

### 2. 栄養バランスが悪くなる

濃い味付けに慣れてしまうと、次第に野菜や海藻などを食べなくなったり味の濃いレトルト食品や外食に偏ってしまいます。結果的に栄養バランスが崩れてしまいます。

### 3. 甘いものを食べる機会が増える

味覚や唾液分泌の低下が起きると同時に先に述べた塩分を摂りすぎると、今度は“すごく甘いもの”が

### 身体に起こる変化は？

食事の習慣が変わると、どんなことが身体に起こるか考えてみましょう。

1. 塩分の取りすぎで、高血圧となる
  2. 糖分の取りすぎで、メタボリックシンドローム（肥満）の原因となる。
  3. 糖尿病の原因や悪化につながる
- など、「生活習慣病」に大きく関わってくるのです。

欲しくなります。よく祖母が“おはぎ”と“漬け物”と一緒に食べていたのを思い出します。

### どんなことに気をつければ良いの？

では日常生活でどんなことに気をつければ良いのでしょうか。

まず塩分についてです。現在、日本人の平均的な1日の塩分摂取量は男性で約11g、女性で約10g程度とされています。厚生労働省による日本人の塩分摂取量の目標値はなんと、“男性:8g、女性:7g”となっているのですから摂りすぎですね。さらに高血圧の人は“6g以下”を目標とされています。

### ここで減塩のコツ、色々ある減塩の方法から簡単にできるものをご紹介します

・汁物や煮物には“だし”をしっかり効かせましょう。

昆布やカツオ、野菜の旨みを活かしましょう。

・調味料を置き換えましょう。

油分と塩分の多いドレッシングなどは“減塩”や“ノンオイル”などの調味料に変えることで摂取量を減らすことができます。

・血圧を測ってみましょう。

テレビや雑誌で多くの情報がありますが、他人事とってしまうのが人の性です。高血圧は気づきにくいということも知っておくと良いでしょう。

### 糖分について

私の個人的な見解もありますが、テレビや雑誌などに出回る“ダイエット”の情報は上手に活用して欲しいと思います。「〇〇で痩せる!」と聞くと「〇〇しか食べない!」となってしまう人もいます。これでは栄養バランスが崩れますよね。低糖質というキーワードもよく聞きますが、「人の脳は“糖質のみ”をエネルギーにして動いています」糖質の摂りすぎは良くないですが、全く摂らないのはもっと良くないです! 脳の栄養不足は判断力の低下や、人の活動そのものに大きく影響するのです。

食べる時にゆっくりと噛んで、素材の味を楽しみましょう。



### 食の生活習慣について

“習慣”人は慣れていく生き物です。以前、入院したばかりの患者さんから「ご飯の味が薄い!おいしくない。」と聞いたことがあります。しかし、しばらく後に何うと「最近、しっかり味がついとるな。味を変えてきたな。」と言われていました。実際、病院では患者さんの病態や状態に合わせて内容を変えているので

すが、その方のお食事は入院当初から変わっていませんでした。つまり薄い味にも次第に慣れてくると、今度は食材そのものの美味しさに敏感に気づけるようになるのです。加齢により味覚は衰えても、美味しさや食べることを楽しむ感性は磨き続けることができますと私は思っています。

現代日本における高齢化、生活習慣病など気になる方も多いためです。次第に暖かくなり外に出るのが楽しい時期になります。毎日の健康習慣が、綺麗に咲く花々や青い空をより一層楽しませてくれるように願っています。皆様の健康の一助になれば幸いです。

## 寺岡記念病院 理念

# トータル&シームレスケア

全人的で切れ目のない医療提供の推進

### スローガン

保健・医療・福祉の統合とネットワーク形成による新地域医療を実践しよう

### 方針

- ① 地域住民の健康と安心を守る医療機関であり続け、健康地域づくりに貢献します
- ② 医療を受ける人の個々のニーズに応える医療を提供します
- ③ 安全で良質な医療提供のためスタッフの職務能力と人格能力を高めます
- ④ 社会の要請に対応した医療を提供します
- ⑤ 長期的に安定した医療を提供するため健全な経営を行い病院の総合力を高めます

## 2018年寺岡記念病院 カレンダー

1月							2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7		
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31	29	30					
5月							6月							7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	
9月							10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6					1	2	3							1
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	16
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	23 30	24 31	25	26	27	28	29	

### 休診日のご案内

①日曜日・祝日 ②年末年始(12/31・1/1・2・3) ③お盆(8/15・16)

### 外来受付時間

●平日/午前8:30~11:30 ●土曜日/午前8:30~11:00

### 外来診察時間

●平日(月~土)/午前9:00~午前12:00 午後1:30~午後5:30

日曜・祝日  
以外の  
休診日

# 寺岡記念病院 外来診療表

外来受付時間  
平日:午前8:30~11:30  
土曜日:午前8:30~11:00

外来診療時間  
月~土曜日:午前 9:00~12:00  
午後 1:30~ 5:30

診察室	月	火	水	木	金	土	
内科	1診	松本 寛	武田 昌	城戸 雄一	武田 昌	竹内 康人 (肝臓)	武田 昌
	2診	熊谷 功	熊谷 功	松本 寛	福田 真治	熊谷 功	松本 寛
	3診	中村 真	藤原 悠紀		杉浦 弘幸	杉浦 弘幸	福田 真治
	4診	福田 真治	城戸 雄一	藤原 恵		宮崎 裕子 (脳神経内科)	藤原 恵
	専門外来		西森 久和 (月2回・血液内科)	上野 弘貴 (脳神経内科)	鈴木 英之 (消化器内科)	中村 重信 (月2回・パーキンソン)	槇野 博史 (月1回・腎疾患)
	専門外来	内田 治仁 (月2回・糖尿病)		中川 晃志 (循環器内科)			岩崎 良章 (月2回・肝臓)
脳神経外科	1診	寺岡 暉	寺岡 暉	寺岡 暉 (第2~5週)	寺岡 暉		寺岡 暉
	2診	渡辺 高志	渡辺 高志	渡辺 高志	渡辺 高志	渡辺 高志	東京大学 (第2~5週)
	3診	竹信 敦充	竹信 敦充	東京大学	竹信 敦充	竹信 敦充	竹信 敦充
	4診			後藤 晴雄		田中 遼	てんかん外来(月1回)
	専門外来		東京大学	東京大学		脳健診	頭痛外来(月2回)
外科	1診	花畑 哲郎	蓮岡 英明	花畑 哲郎	蓮岡 英明	花畑 哲郎	花畑 哲郎
	2診	蓮岡 英明	花畑 哲郎	蓮岡 英明	松三 雄騎	伊藤 雅典	岡山大学
	専門外来				大澤 晋 (心臓血管外科)		
整形外科	1診	小坂 義樹	岡山大学	小坂 義樹	岡山大学	小坂 義樹	周 鉅文
	2診	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	
	小児整形			小坂 義樹			
	形成外科			駒越 翔			岡山大学 (第2-4週)
泌尿器科	1診	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二

2018年1月から整形外科の月曜日診療を再開いたしました

2018.2.1現在

## 【専門外来】

糖尿病	月(月2回)	午後2:00~4:00(予約制)	脳血管障害	火・水	午後2:00~4:00(予約制)
血液内科	火(月2回)	午前9:00~12:00(予約制)	頭痛	土(月2回)	午前9:00~12:00(予約制)
消化器内科	木	午前11:00~12:00(予約制)	てんかん	土(月1回)	午前9:00~11:00(予約制)
循環器内科	水	午後2:00~4:00(予約制)	心臓血管外科	木	午前9:00~12:00(予約制)
肝臓	金	午前9:00~12:00(予約制)	小児整形外科	水	午後2:00~2:30(予約不要)
パーキンソン病	金(月2回)	午後2:00~4:00(予約制)	形成外科	水・土(月2回)	午前10:00~11:00(予約制)
腎臓	土(月1回)	午前10:00~12:00(予約制)	総合診療科	月・水・木・土	午前9:00~11:00(予約不要)
肝臓	土(月2回)	午前9:00~12:00(予約制)	ストーマ外来	第3木曜日	午後2:00~4:00(予約制)
もの忘れ	月・火・水・土	午前9:00~11:00(予約不要)	瘻縮外来	火	午後2:00~4:00(予約不要)
早期認知症診断	月・火・水・金	午後2:00~4:00(予約制)	在宅支援外来	月・金	午後1:30~4:00(予約制)

## 地域医療連携室

外来・入院紹介 TEL.0847-40-3656

FAX.0847-40-3657

CT・MRI検査予約 TEL.0847-51-8045

本誌について、ご意見ご感想がございましたら、是非お聞かせください。

## 寺岡記念病院

TEL.0847-52-3140(代) FAX.0847-52-2705

## 通所リハビリテーション「フォース」

TEL. & FAX.0847-52-7655

## ローカルコモンズ・ウィル

TEL. 0847-54-0620(代)

